

人々の心に響くいい歌を 誠実に歌い続けたい

オペラ歌手 佐藤しのぶさん

日本が世界に誇るプリマドンナ。「椿姫」に抜擢、デビュー・リサイタルではイタリアオペラを歌い、衛星放送を通

して世界へ披露。「トスカ」「蝶々夫人」などのタイトルロールを次々と演じ、一大センセーションを巻き起こした。



佐藤さんとオペラとの出会いは幼い頃。母親にバレエやオーケストラ、ミュージカルなど舞台芸術鑑賞に連れられることが多く、その中に「オペラ」が含まれていたそうです。「特にオペラを意識したのは、音楽学校へ進んでマリア・カラスのレコードを毎日聴くようになった頃でしょうか。高校生の私にとってイタリア語もよくわからないのに、彼女の歌声だけで、その表情や動きがドラマとして浮かび上がって来ることに衝撃を受けました」と佐藤さん。その後、メトロポリタン・オペラの来日公演でデバルディとコレリ出演の「ラ・

ボエーム」を観たのが決定的だったそうです。

「まるで恋に落ちるようにオペラという魔法に心を奪われましたね。人間の肉体と精神の極みから生まれる奇跡の瞬間、時空を越えた普遍的なテーマによって人がより成長させる思考や哲学を持ったもの...それらオペラが持つ偉大さを感じるようになりました。また、オペラ上演に至るまでの、多くの人々と共に創りあげていくチームワークの素晴らしさにも惹かれ、ますますオペラの虜になったといえます。

6月24日(金)午後6時半から、和

歌山県民文化会館大ホールで『佐藤しのぶソプラノリサイタル』が行われます。「以前和歌山のみなさまには、大変あたたかく迎えていただきました。今回もより一層お喜びいただけるように最善を尽くしたいと思います」とメッセージを頂戴しました。「毎日を大切に精進を続け、今日よりも明日、明日よりもあさつと、焦らず、たゆまず、怠らず、誠実に歌い続けていきたいと思います。世界中の様々な問題で苦しむ子供や大人たちに、少しでもお役に立てるような活動を今後も積極的に行い続けたいですね。」

第33回

和歌山県新人演奏会

～オーディション参加者募集～

【日時】平成17年6月12日(日)午後1時開演

【場所】和歌山県民文化会館 大ホール

【入場料】無料(公開)

【応募資格】平成15年度(平成16年3月)、平成16年度(平成17年3月)に大学院、大学、短期大学、専門学校を卒業した、次に掲げる何れかの方
本県出身者又は県内の上記学校卒業生
本県に在住又は勤務している方

【結果発表】オーディション審査後、当日発表。後日、郵送でも通知。また希望の方には結果発表後、選考委員からの講評あり

【演奏時間】7分以内(演奏時間の長さについては審査の対象外)

【曲目】自由(原則として各部門とも本演奏会で演奏する曲を含むこと)

【演奏部門】クラシック部門 <声楽・器楽・作曲・邦楽>

作曲の場合は、楽譜も提出して下さい(返却しません)

主催者で用意する楽器は、ピアノ(スタインウェイ)だけです

【締め切り】平成17年5月12日(木)

【申し込み】所定の申し込み用紙が必要

詳しくは

財団法人 和歌山県文化振興財団 和歌山県新人演奏会係まで TEL073-436-1331(内線127)

和歌山県 文化表彰 受賞者

和歌山県文化表彰とは和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

文化功労賞

日本近世史研究家
かさはらまさお
笠原正夫氏



笠原氏は『和歌山県史』の編纂に携わり、「近世」の「水産業の発展」や「漁業政策の転換と漁村」などを担当執筆

昭和9年2月27日生まれ。和歌山大学学芸学部卒業。和歌山県史編纂委員会専門委員。和歌山県同和運動史編纂専門委員。教育副読本『わかやまDE発見!』の編集委員長。和歌山県教育史編纂委員会副委員長。県下各地の市町村史編纂委員を歴任。海南市下津町黒田在住。

歴史研究における実績と博識で和歌山県のために多大な功績を果たし、平成16年度和歌山県文化功労賞受賞の笠原正夫さん。紀伊半島は海に囲まれ、古来より漁業が盛んであったのに、漁業に関する歴史研究がほとんど進んでおらず、笠原さんは小・中・高等学校の教諭を勤めながら研究。平成5年にはそれまでの膨大な資料と実証の集大成である『近世漁村の史的研究 紀州の漁村を素材として』を出版し、各方面から絶賛を博しました。昭和52年より県史編纂室に勤務し、昭和58年に県史編纂委員会専門委員となり、県史「近世」の「水産業の発展」や「漁業政策の転換と漁村」を執筆。県下各地の市町村史の編纂にも数多く携わり、教育史で

は県教育史編纂委員会副委員長として尽力しています。

また世界遺産登録の熊野の近世史の研究も深め、歴史講演会では日本近世史をわかりやすく解説。フィールドワークを通して郷土紀州への愛着をさらに強め、歴史の検証をする際には、常に庶民の目線・大衆の目線を第一に、大切に、と考えているそうです。「歴史を学ぶことは将来を見通す目を育てること。特に若い人は歴史に興味を持って、世の中の動きや人生を見通す力をつけて欲しい」と笠原さんは語ります。著書も数多く、平成14年「紀州藩の政治と社会」、平成15年『街道の日本史・「南紀と熊野古道」』（共著）、平成16年「和歌山県の歴史」（共著）を出版しま

した。「文化功労賞は、“これからも健康に気をつけて、和歌山の歴史研究を続けていけよ”という激励をいただいたと思い、ますます研鑽していきたい」と決意を新たにしています。



著書「紀州藩の政治と社会」は、地域の史料を掘り起こして活用することから本編を構築するという手法をとっています

きのくに芸術新人賞受賞者紹介

ハッピーなひとコマを演出する “幸せギフト”の配達人

バルーンアーティスト
たまき
玉置あかりさん

誕生日のプレゼントから会場装飾まで、バルーンを使ったモノなら何でもござれの風船屋・玉置あかりさん。「きっかけは何気なく見ていたTV番組」。それまで可愛いだけだった風船のイメージを覆す作品に「これだ」と感じ、何よりご自身が「欲しい」と思ったのが始まりとか。花関係

の仕事からバルーンアーティストに転身し、バルーンギフトを届ける「ハッピーバルーン」を立ち上げたのが27歳の時。「祝い事など風船をお届けするのはみんなが笑顔の時。逆にハッピーをもらえるんです。たくさんの方の幸せの一コマを演出するのが玉置さんのやり甲斐です。



1970年和歌山市生まれ。プレゼントからイベント用のアーチまで、バルーンギフトを作って届ける「ハッピーバルーン」として活動を続けるとともに、国内外の大規模な大会にも積極的に参加。昨年5月、アメリカ世界大会IBACフィギア部門で優勝。

クラシック・バレエの名場面を集めた華やかな舞台

8
21

レニングラード国立バレエ ～華麗なるクラシックバレエ・ハイライト～

SUN 日

音楽は特別録音テープを使用致します。

開演 / 午後3時(開場2時半) 場所 / 県民文化会館(大ホール)
 入場料金 / S席6000円・A席5000円 学生・団体割引あり
 チケット発売 けんぶん友の会優先電話予約 5月13日(金)10:00～
 一般電話予約 5月16日(月)10:00～ 一般(プレイガイド)販売 5月20日(金)

世界で最も美しいコール・ド・バレエ(群舞)と絶賛される「レニングラード国立バレエ」。白夜と芸術の都サンクトペテルブルグで育まれてきた同劇場は、170余年の歴史と伝統を誇る名門劇場として、多くの人々から愛され国内外で活躍しています。そんな名門バレエ団が誇るトップ・ソリストたちが集い、夢の舞台を繰り広げる「レニングラード国

立バレエ～華麗なるクラシックバレエ・ハイライト～」。バレエの中でも最も華やかなハイライトシーンや優れた小作品を、注目の若手ソリストたちが次々に踊ります。今公演では、ファンが待ち望んでいた素晴らしいプログラムを上演。クラシック・バレエの作品の中から、名場面ばかりを集めたバレエ傑作集をお楽しみください。



名作バレエの見どころが満載



まず、ロマンティック・バレエの代名詞として知られる「レ・シルフィード」。美しいコール・ド・バレエによる情感たっぷりの踊りをお楽しみいただけます。エキゾチックな「海賊」では心躍るパ・ド・トロワを、「眠りの森の美女」では、愛らしいオーロラ姫の姿を華やかなグラン・パ・ド・ドウで。さらに、儂くも美しい姿を魅せる「瀕死の白鳥」。古典バレエの中で最も有名な「白鳥の湖」からは、王子が悪魔の娘オディールに誘惑される艶やかなシーンを、「春の水」では若々しいエネルギーに満ちたダイナミックな踊りを、「ジゼル」からはロマンティックなパ・ド・ドウをご覧ください。名作バレエの見どころが凝縮された、ゴージャスな舞台にご期待ください。

Check It Out

- Point 1** 美貌のプリマと若手ソリストたちに注目! フィナーレを飾る「パキータ」には、同団の誇る実力派プリマ、シエスタコワが登場。コール・ド・バレエを従え、25分間に及ぶ華麗な舞台上で大いに盛り上げます。
- Point 2** 「レニングラード国立バレエ」は、170余年の歴史と伝統を誇る名門劇場のバレエ団。古典バレエを得意とする一方、実験的なオリジナル作品の創作も。世界最高と謳われる美しいコール・ド・バレエは必見です。

チケット購入者限定特別プログラム

舞台上でのバーレッシン風景見学者募集のお知らせ

【応募要項】開催日時: 8月21日(日)午後12時半～(約1時間)予定
 募集人数: 100名(応募多数の場合、抽選) 応募締切: 7月15日(金)消印有効
 申込方法: 往復はがきでのお申し込みに限ります

ウォーミングアップのためのバーレッシンを、あなたも客席から見学しませんか? レニングラード国立バレエ団トップソリストたちによるワガノワスタイルのバーレッシンを見学できるチャンスです。

通訳は付きません(言葉は、ロシア

語かフランス語)

当日のレニングラード国立バレエ「華麗なるクラシックバレエ・ハイライト」のチケットをお持ちの方に限ります
 バーレッシンは、一部レニングラード国立バレエ団所属以外の参加もあります

官製往復はがきに下記の必要事項をご記入の上、お申し込みください。

表	往信 640-8269 和歌山市小松原通1-1 (財)和歌山県文化振興財団内 「レニングラード国立バレエ」バーレッシン見学係	白紙 (何も書かないでください)
----------	---	---------------------

裏	返信 〇〇-〇〇〇〇 ご自分の郵便番号 住所 氏名	ご自分の郵便番号、住所 氏名 性別、年齢 電話番号
----------	------------------------------------	------------------------------------

初めての人にもわかりやすい、楽しい歌舞伎公演!

6 2 THU 木

第30回 歌舞伎鑑賞教室

開演/午後2時 場所/県民文化会館(大ホール)
入場料金/一般(自由席)1500円学生800円 チケット発売中
団体割引あり、1階席の一部は「学校団体鑑賞席」となります

「歌舞伎を観に行きたいけど、歌舞伎についてなにも知らないとちょっと不安...」そんな方も、安心してご覧いただける歌舞伎公演です。第一部「歌舞伎のみかた」は、見どころや音楽、歴史など歌舞伎のイロハを楽しくわかりやすく解説していく歌舞伎入門講座。第二部では、「^{しんぱんうたざい}新版歌祭^{もんものざきむら}文野崎村」を上演します。初めての方も、きっと歌舞伎を身近に感じていただけることでしょう。見どころ盛りだくさんの舞台をお楽しみください。



久作役・片岡我當さんからのメッセージ



日本が世界に誇る伝統芸能である「歌舞伎」を、一人でも多くの人たちに親しんでいただきたいと昭和51年に始まった歌舞伎鑑賞教室も、本年で30年目を迎えさせていただきます。私は第1回より出演させていただいておりますが、これまで学生諸君を中心に150万人を超える幅広い世代の方々にご鑑賞いただきました。この間、学生諸君のみならず、

初めて歌舞伎に接した多くの皆様から感激と賛辞のお声を頂戴し、この教室の使命感に私自身大きな重責を感じております。

今年は30年という節目の年にあたり、さらに内容の充実を図り、この後とも一人でも多くの方々に歌舞伎の魅力を伝え、息長くこの教室を発展させて行くよう、全身全霊で舞台をつとめさせていただきますので、どうぞお気軽にお越しください。ようお待ち申し上げます。

和歌山県民文化会館 ご利用の案内

第3火曜以外は営業!

和歌山県民文化会館には、18名から120名まで収容できる会議室などがあり、会議や打ち合わせ、集会など用途に合わせてお使いいただけます。ご利用についてはお気軽にお問い合わせください。



大会議室(5F)



401~407会議室(4F)



特別会議室(6F)

● **開館時間** 午前9時~午後9時30分

● **休館日** 毎月第3火曜日(ただし、その日が国民の祝日・休日にあたるときは、その翌日に振替)、12月28日~翌年1月4日(年末・年始休館)

● **申込受付時間** 午前9時~午後9時30分

● **申込受付期間** 利用日の1年前から受付

※時間帯及び利用料金等についてはお問い合わせください

駐車場ご利用の案内 24時間 年中無休

駐車代1日最大1600円

午前7時~午後10時.....30分毎100円
午後10時~翌午前7時.....60分毎100円
1日最大1600円(7時間30分以上駐車)
定期駐車(1カ月):15240円
回数券:(100円券・11枚)1000円
(200円券・11枚)2000円
(500円券・11枚)5000円
(プリペイドカード2200円券)2000円

【お問い合わせ】TEL.073(436)1331
和歌山県民文化会館管理業務課

PLAY GUIDE プレイガイド

和歌山県民文化会館	☎073(436)1331
宮井平安堂	☎073(431)1331
近鉄カルチャーセンター	☎073(421)7123
カインレコード	☎073(483)5039
粉河ふるさとセンター	☎0736(73)3312
かつらぎ総合文化会館	☎0736(22)0303
県立橋本体育館	☎0736(32)9660
御坊市民文化会館	☎0738(23)4881
紀南文化会館	☎0739(25)3033

ローソンチケット ☎0570(00)0403(電話予約)
一部お取り扱いのないものもあります

募集

平成17年度舞台芸術活動支援事業
創造的で文化的な舞台芸術活動に取り組む方々を支援します。
平成17年度和歌山県地域文化育成事業
「世界遺産」を事業テーマとした事業企画(舞台制作等)を公募します。

【募集期間】平成17年5月1日~31日
詳しくは、ホームページをご覧ください。和歌山県文化振興財団(Wacaf)073-436-1331にお問い合わせください。
ホームページアドレス <http://www.wacaf.or.jp>

ホームページからも チケット購入OK!

<http://www.wacaf.or.jp>

携帯電話
からもOK!

県民文化会館や片男波公園のイベント情報、施設情報などが満載。またメールマガジンに登録された方には主催イベント情報のメール配信も随時。公演チケットの購入もWEB上でできます。

主催公演チケット申し込み手順

<http://www.wacaf.or.jp>へアクセス

[主催イベント一覧]を選択

イベント・申し込み席数の選択

確認・送信

送信確認メールが届きます

後日、事務局より確認の連絡があります

確認終了後、支払期日・方法などをお知らせします

お支払い・チケット購入終了

和歌山

名品

wakayama
Traditional Craft
Theatre

劇場

紀州漆器

海南市・黒江

和歌山の奥深い伝統工芸品を見て、触れて、体験して、その魅力を再発見!



紀州漆器の起源は、室町時代に紀州木地師によって渋地碗を作ったのが始まりだと言われています。また、秀吉の兵火に遭った紀州根来寺の僧徒の中で漆の技に長じた者が黒江に逃れ、その技を伝えたとの説もあります。江戸時代以降、庶民の日用品としての需要が高まるにつけ、生産量を増大し、「紀州漆器」の名は全国に知られるようになりました。

その紀州漆器の生産地として知られる海南市黒江地区。江戸時代、紀州藩の保護で栄え、木地屋、下地屋、塗

師(ぬし)、沈金師、蒔絵師、箱師、問屋などが集まり、一種独特の職住一体の町を作ってきました。町屋は京風の紀州連子格子を持ち、のこぎりの歯のような家並みが特徴的です。

築約180年以上というかつての職人の家を改築し、紀州漆器のディスプレイや販売を行う「黒江ぬりもの館」では、紀州根来碗の研ぎ出し体験ができます。根来塗り独特の朱色と黒い模様のコントラスト。自由に模様を研ぎ出して、素敵な根来塗りのお碗を作ってみましょう。



黒江ぬりもの館

- A 海南市黒江680 N073-482-5321
- B 午前10時～午後4時30分(体験希望者は3時30分までに入館のこと)
- C 水曜
- Z 紀州根来碗の研ぎ出し体験1個1000円(送料別) 10人以上の場合は要予約

体験レポート



1 まずは手ほどきを受けてから。デザインをイメージして作業にかかりましょう。コツさえ覚えればカンタン。



2 サンドペーパーを使って模様を研ぎ出します。こまめに雑巾で拭いて加減を見ながら行いましょう。



3 碗が完成! このあと熟練の職人の手で上塗りされ、艶のある「紀州根来碗」として後日送付されます。



世界遺産を辿る

日本三大火祭のひとつ 那智の火祭

【開催場所】熊野那智大社 【日時】7月14日(木)午前10時から

A 那智勝浦町那智山1 [熊野那智大社 N0735-55-0321

当日は大変混み合うので、昼ごろに那智山へ着くことをおすすめします

毎年7月14日に開催される日本三大火祭のひとつ「那智の火祭」。世界遺産登録にわく熊野那智大社の例大祭で、「扇祭」とも呼ばれています。そもそもこの祭は、熊野那智大社からお滝前の「飛滝神社」へ年に一度の里帰りの様子を表したもの。12

体の熊野の神々を、お滝の姿を表した高さ約6mの扇神輿に移し、御本社よりお滝へ渡御しながら、重さ約60kgもある12本の大松明でお出迎え。火の粉を飛ばしながら燃えさかる松明が石段を照らす風景は、豪快で幻想的です。



もみ合うように扇神輿のお清めをする神事。これが那智の火祭の一番の見所で、昼なお暗い参道を火の粉を飛散させながら石段を登り降りする光景はとて神秘的です

郷土の民話・逸話を子供たちに伝える わかやま絵本の会



会のメンバーは、現在103名。年会費4000円で、年間数冊送られる絵本を読み、子どもにも読み聞かせ、その感想を会に寄せる購読会員と、絵本づくりに参加している創作会員で構成されています



「絵本づくりは、たくさんの人との出会いが楽しい」と語る松下さん



郷土の民話・逸話をわかりやすく紹介した絵本たち。県下約50カ所の書店で販売中なので、探してみても。最新作は「ヤタガラスをさがせ!! (600円)」

私たちの郷土をもっと知りたい、そしてそれを子どもたちに伝えていきたい…。そんな思いから、和歌山の民話や逸話昔ばなしをテーマに、郷土の絵本づくりが始まりました。1985年4月にたった6名で始まったこの活動は、今年で20周年を迎えます。今では、会員数103名、全118冊を発行し、「稲むらの火 浜口梧陵のはなし (700円)」など数々のヒット作を生み出してきました。また、小学校での創作紙芝居など、その活動は多岐に渡ります。

「民話や逸話は一見難しいように思いますが、時代を超えて、やはり素晴らしいモノは素晴らしい。その魅力をより多くの人に知っていただきたい」と語る代表・松下千恵さん。絵本は物語のエッセンスだけを抽出するから、誰にとってもわかりやすく大人も楽しめる内容。20周年を迎える今年は、「教えて和歌山 100シリーズ」と題して、歴史・方言・食べ物など、様々な角度から和歌山の魅力を伝える絵本の発行を予定。今後の活動にもますます期待が持てそうです。



和歌山大学生涯学習研究センター前の花壇にも花がいっぱい

子どもたちが植えた チューリップが満開 スペース“いばしょ。”

県立図書館前の花壇に咲いた色とりどりのチューリップ。同館文化情報センターに事務局を置く「スペース“いばしょ。”」のプラムクラブに参加する子どもたちが植えたものです。プラムクラブでは子どもの視線でまちづくりについて考えようと、野外活動を中心に子どもマップの制作や花づくりに取り組んできました。昨秋、地域



のボランティア団体「ライフロングガーデン」とともに植えた約1600球のチューリップ。花を通した人と人とのつながりが、街の風景を彩っています。

和歌山の昔話

おいつぼの滝



五百年前。高畑村(現在の美里町)の庄屋に、玉のような女の子が生まれました。桂と名づけられ、美しい女性に育ちましたが、母親が病で亡くなり、また父親も病気にかかりました。桂は観音様に願をかける毎日を送っていたのですが、美しい桂を見たひひ猿が、さらおうと企てていたのです。何も知らない桂は、看病疲れから父親の枕元で寝てしまいました。

夢の中に観音様が現れ、「お前の父親思いの心には感心し

た。病はもうすぐ平癒する。ただ、お前を連れ去ろうとするひひ猿が近くまで来ている。だが恐れることはない。猿が来れば水瓶に逃れよ。猿は壺ごとお前を背負うであろうが、滝壺まで行った時、かんざしを滝壺に投げ入れ、拾うように猿に頼め。猿は滝壺に飛び込むだろう」と言い残しました。それは正夢となり難を逃れ、滝壺から流れ出した桂のかんざしは貴志川の浅瀬に流れ着き、そこは「桂瀬」と呼ばれるようになったそうです。

宝くじ文化公演 木乃下真市 30周年記念ライブツアー 特別バージョン

粉河ふるさとセンター
T 073(47)3312
日時:6月4日(土)
午後7時(開場/午後6時半)
料金:一般前売り2000円、当日2500円、
高校生以下学生前売り1000円、
当日1500円

上富田文化会館
T 073(47)5930
日時:6月5日(日)
午後7時(開場/午後6時半)
料金:一般前売り2000円、当日2500円



和歌山県出身のアーティストであり、日本だけでなく世界で活躍する津軽三味線最高峰・木乃下真市ライブツアー。1993年にオリジナル「津軽三味線ロック」を発表。日本を代表するジャズギタリスト・渡辺香津美とのバトルコンサートなど、さまざまなアーティストたちと共演、音楽の領域を越えたアグレッシブな活動を展開しています。今回の特別バージョンでは、仙波清彦(ドラム)、大古富士子(ピアノ)、安田英二(ベース)と組んで、現代的音楽との融合を確立させた新しい津軽三味線を存分に楽しませてくれます。

和歌山県立近代美術館

T 073(436)8690

没後10年「遺業・泉茂」展

6月5日(日)まで

泉茂は関西の現代美術を代表する画家の一人。太平洋戦争後に画家として活動を開始、銅版画や石版画をほとんど独学で作り始め、関西における版画制作の道を開きました。しかし、新たな展開をめざして渡米、やがてパリに移り、筆跡を描き直す抽象的な絵画にチャレンジ。さらに、雲形定規の形を利用していた作品に新たな展開を求めていましたが、志半ばにして死去したのです。この展覧会では没後10年を機に、変遷を繰り返した泉による各時代の代表作を顧み、その業績を偲びます。



泉茂《目》1955年、油彩・キャンパス

P午前9時半～午後5時 C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般400円・大学生250円・高校生以下無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

T 073(471)6123

新着資料展示「保田紙生産用具一式」

5月8日(日)まで

紀伊風土記の丘資料館新着資料のコーナーに、保田紙生産用具一式(点数40点)を展示しています。これは清水町で民俗資料の調査をしている研究者(蘇理剛志氏)から、情報提供され、平成16年9月に有田郡清水町西原の和田加造宅から収集したものです。伝統的な保田紙の工程や技術を知ることができます。



P午前9時～午後4時半 C月曜(祝日の場合は火曜)
Z一般170円(特別展350円)・大学生80円(210円)・高校生以下無料

和歌山県立博物館

T 073(436)8670

きのくに仮面の世界

6月5日(日)まで

県内に多く残されている古い仮面。それらは、盛んに行われていた芸能の様子を今に伝える貴重な文化財です。特に高野山周辺には仏教的な儀礼で使用された行道面や、猿楽で使われた仮面などが数多く確認されています。また、紀伊徳川家ゆかりの能面や狂言面の一部も今日まで伝わっています。特別展ではこれら仮面の魅力に触れ、守り伝えてきた地域の深い歴史を感じ取ることができます。



猿楽面 女

P午前9時半～午後5時 C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般500円・大学生300円・高校生以下無料

万葉館

T 073(446)5553

紀伊万葉の故地を歩む ～大和の国から紀伊国へ～

5月29日(日)まで

短歌・永廣禎夫、書・矢萩喜孝、写真・藤井定明。



万葉日本画展～あさもよし紀伊国～

6月1日(水)～10月2日(日)

万葉ゆかりの風景を「りんご会」のみなさんが日本画で表現。和歌山を代表する日本画家・清水達三氏の作品も展示します。



清水達三《波濤》

P午前9時～午後5時 C月曜(祝日の場合は翌日)
Z大人260円・大高生150円・小中学生100円

和歌山県立自然博物館

T 073(483)1777

自然博物館体験教室「お魚講座」

5月28日(土)13:00～16:30

和歌山県で観られる魚について、その暮らしぶりや身体の仕組みなどを学ぶ講座です。また、飼育している魚への「エサやり」も体験できます。募集対象は高校生以上一般。申し込み締め切りは5月14日(土)です。詳しくはお問い合わせを。



P午前9時半～午後5時(入館は午後4時半まで)
C月曜(祝日の場合は次の平日) Z大人460円・高校生以下無料